

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 29. 4. 25 第 193 回国会第 7 号

4 月 25 日（火）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 26 号）

- ・ 稲田防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 赤嶺政賢君（共産）が討論を行いました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、公明、維新、武藤貴也君（無） 反対－民進、共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 横路孝弘君（民進）

- ・ 北朝鮮に対して米軍が武力行使をした場合や、日本に核弾頭が着弾した場合、また原発にミサイルが着弾した場合についての被害想定を防衛省内で行っているかどうか、稲田防衛大臣に伺いたい。
- ・ 米軍空母カールビンソンと海上自衛隊の共同訓練について、日本海で行うことや、安保法制に基づく武器等防護の任務が付与されていないことが報道されているにもかかわらず、防衛大臣が委員会でその事実について答弁できない理由について、稲田防衛大臣に伺いたい。
- ・ 宇宙監視システムについて、政府の組織を整理統合していかなければならないのではないかという意見があることについて、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。

### 神山洋介君（民進）

- ・ 抑止力が機能するには、相手が合理的な判断に基づき行動する国である必要があると考えるが、その観点から見た場合の北朝鮮に対する稲田防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・ 近年のサイバー空間における脅威の深刻化に鑑みれば、本法律案によるサイバー防衛隊の小幅な定員増による対処ではなく、自衛隊の部隊編成から大胆に見直すべきと考えるが、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ 軍事面だけでなく民生面も含めたサイバー攻撃への対処に関し、政府全体で態勢面及び法制面における整備を進めるべきと考えるが、これに対する稲田防衛大臣の見解を伺いたい。

### 赤嶺政賢君（共産）

- ・ 辺野古の新基地建設に関して、沖縄の地元紙の世論調査において反対の意見が多数を占めるということについて、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・ 日米による北朝鮮に対する軍事的圧力が朝鮮半島や日本において甚大な犠牲者を生む事態に発展する可能性について、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ 陸上総隊の創設理由として、島嶼防衛の必要性が挙げられているが、具体的にどのような事態を想定しているのか、政府に伺いたい。

### 吉田豊史君（維新）

- ・ 北朝鮮からの弾道ミサイルに核弾頭が搭載されているか否かを着弾以前に判断することは可能であるのか、防衛省に伺いたい。
- ・ 北朝鮮からの弾道ミサイルに対し、弾道ミサイル防衛（BMD）システム以外の対処方法を検討しているのか、防衛省に伺いたい。
- ・ 諸外国と比較したときの弾道ミサイル防衛に関する我が国の技術力及び研究開発のレベルについて、防衛省に伺いたい。また、このような技術力等を含めた抑止力の向上について、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。

### 照屋寛徳君（社民）

- ・ 4 月 24 日に米軍嘉手納飛行場で米軍によるパラシュート降下訓練が実施されたところ、同訓練は伊江島補助飛行場で行うとした「沖縄に関する特別行動委員会（SACO）」最終報告における合意に明白に違反していると考え、防衛省の見解を伺いたい。
- ・ 米軍横田飛行場で 4 月 24 日に実施されたパラシュート降下訓練では、米軍から地元自治体への事前通告が 3 日前の夕方であった一方、米軍嘉手納飛行場の事案では、事前通告は前日夜に行われており、本土と沖縄で対応に差があるが、防衛省の見解を伺いたい。
- ・ 3 月 15 日及び 4 月 19 日に米軍が、沖縄県読谷村でヘリコプターによる車両の吊下げ訓練を行ったことについて、

政府として米軍に対し同訓練の即時停止を求めていくべきと考えるが、稲田防衛大臣の見解を伺いたい。